## 【小児における肺炎球菌感染症、全国サーベイランス】

1

菌株登録後にWeb調査システムより発番される登録IDをご記載ください。

Γ

### 肺炎

必須項目				
菌株の種別	□ 肺炎   □ 肺炎			
必須項目	以下の条件を満たしていますか。			
登録条件の確認	□ はい			
	① 咳嗽、喀痰、胸痛、呼吸困難などの局所症状および発熱、全身倦怠感などの全身症状を伴い、画像上肺炎と診断されていること(重症度は問わない)			
	② 年齢 2ヵ月齢以上5歳未満			
	③ 研究計画書に定められた方法*に準じて採取した喀痰から肺炎球菌が検出されていること (喀出痰や咽頭ぬぐい液から分離された菌株は対象としない)			
識別番号(任意入力)	[ *担当医師が菌株を特定するための任意のIDです。			
<u>必須項目</u> 性別	口 男性 口 女性			
必須項目	生年月 西暦 年 月			
発症時月齢年齢				
一 光延时月 断 平 断 	発症(入院)年月 西暦年月			
必須項目 複数選択可	□ 血液			
18 38 C IV - J	□ 髄液 ↓その他を選択した場合は、無菌部位を記載			
	□ その他無菌部位 無菌部位 [			
肺炎球菌が分離された材料の種類	□ 喀痰			
<b>加炎球風が分離された材料の</b> 種類	□ 中耳貯留液(左)			
	□ 中耳貯留液(右)			
必須項目				
複数選択可	□ 菌血症			
	□関節炎			
	□ 腹膜炎 ↓ その他を選択した場合は、診断名を記載			
診断名	□ その他 診断名 [			
	□肺炎			
	□ 急性中耳炎			

#### \*研究計画書に定められた検体の採取方法

#### 【咳嗽誘発・喀痰採取法】

湿性咳嗽が認められる患児の咽頭部を母指で外側からこするように強く圧迫し、咳嗽が誘発されなければ、アレベール入り生理食塩水で吸入後咳嗽を誘発し、電灯付き舌圧子で舌根部を強く圧迫する。喀痰が咽頭を通過して咽頭部に達した瞬間に滅菌捲線子で巻き取るように、あるいは1mLの注射筒で吸引し採取する。

#### 【洗浄喀痰培養】

滅菌生理食塩水約20mLをいれた滅菌シャーレを3枚並べる。白金耳で喀痰をすくうようにして生理食塩水の中で速やかに激しく振り洗う。そして粘液栓子様の小片を白金耳ですくい上げて次のシャーレに移し、同様にして振り洗う。この操作を次々に3枚のシャーレの中で繰り返すと、透明な生理食塩水中に栓子状小片が浮いている状態になる。この小片数個を用いてできるだけ均等化し塗抹標本と培養の検体とする。

# 【小児における肺炎球菌感染症、全国サーベイランス】

登録ID	[	]		
菌株登録後にWeb調査システムより発番される登録IDをご記載ください。				

## 肺炎

必須垻 居(	■ 主する都道府県		[ ]
	必須項目	有無	□ 有 <sub>↓有の場合は下記記載</sub> □ 無 □ 不明
PCV7接種歴  必須項目 が	回数	[ ] 回 口 不明	
	最終接種	□ およそ2週間未満である	
	から発症	□ およそ2週間以上経過している	
	までの期間	□ 不明	
	有無	□ 有 <sub>↓有の場合は下記記載</sub> □ 無 □ 不明	
	回数	[ ] 回 口 不明	
	最終接種	□ およそ2週間未満である	
	から発症 までの期間	□ およそ2週間以上経過している □ 不明	
	有無		
チ ン 接 種 <b>PCV10接種歴</b> 歴	回数	□	
		□ およそ2週間未満である	
	最終接種 から発症	□ およそ2週間以上経過している	
	までの期間	□ 不明	
	必須項目	有無	□ 有 <sub>↓有の場合は下記記載</sub> □ 無 □ 不明
PCV13接種歴	回数	[ ] 回 口 不明	
	最終接種	□ およそ2週間未満である	
	1 3 1 10 12 12 12	から発症	□ およそ2週間以上経過している
N / = +=		までの期間	
必須項	B	有無	□ 有 ↓ 有の場合は下記記載 □ 無 □ 不明
		回数	□ □ □ 不明
	Hib ワクチン接種歴	最終接種 から発症	□ およそ2週間未満である □ およそ2週間以上経過している
		までの期間	□ およて2週間以工程週している
必須項目			□ 有 <sub>↓ 有の場合は病名記載</sub> □ 無
甘琳佐卑			↓ 19 の物口は別口に収
基礎疾患			病名[
<mark>必須項目</mark> 摘脾/解剖学的・機能的無脾			口 有 口 無 口 不明
必須項			□ 有 <sub>↓ 有の場合は薬剤名記載</sub> □ 無
		抗生剤	薬剤名[
			口
, Æ	正时 07 70 7577.0 7京	その他特殊 な治療	* 7 7 7 16 16 11 15 11 1
N. CT-T III			治療法[
		γ グロブリン	11
	<b>定時のその他の治療</b> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ステロイド	□有□無
<u>必須項目</u> 集団保育			□ 有 □ 無 □ 不明
		有無	□ 有 <sub>↓有の場合は下記記載</sub> □ 無 □ 不明
		人数	[ ] 人
		(患児を除く)	↓ WEB調査システム上では、人数分の人刀欄が作成されます
同原	同胞の年齢と集団保育		年齢 [ ]歳 □ 不明
			集団保育 □ 有 □ 無 □ 不明         年齢 [ ]歳 □ 不明
		2人目	集団保育 口 無 口 不明
<u>必須項目</u> 有無		有無	□ 有 <sub>↓有の場合は続柄を選択</sub> □ 無 □ 不明
家力	<b>族内喫煙</b>	続柄	□父□母□その他
<u>必須項目</u> 転帰			□ 治癒 □ 後遺症 □ 死亡 □ 治療中(転帰未確定)
тДЛИ			